



「fufufu-soup」の名前の由来…  
温かいスープをフーフーしながら飲んで、フッと一息ついて、フッと笑顔になれる場所。  
そんな思いが込められています。

▶「おうえんチケット」  
チケットを購入し、応援メッセージを書くことにより、付き添いパパ・ママへの経済的支援をすることが可能です。



連合群馬の「愛のキャンパ」で購入したスープジャーとエスプレッソマシンが大活躍。温かいスープで心も体も癒やされます。



自家製発酵シロップドリンク。水・お湯・炭酸・ダーズリンティーとお好きな割り方が選べます。



## 連合群馬 愛のキャンパ

助成団体 No.1

# fufufu-soup (北部地協)



渋川市の「群馬県立小児医療センター」で、毎週水曜日にキッチンカーを出店している『fufufu-soup』は、病気で息子さんを亡くした青木さんご夫妻が、「病気や怪我の子どもの付き添いで大変な思いをしているパパ・ママを助きたい」、そんな思いで立ち上げました。連合群馬では「愛のキャンパ」を通じて、この活動を支援しています。(北部地協からの紹介)

青木さんご夫婦は、当初、無料の食事支援事業を企画していましたが、様々な事情から実現には至りませんでした。しかしそんな中、連合群馬や連携する県議が協力し、他県の事例なども参考にしながら、病院駐車場内でのキッチンカーの出店が実現しました。

病院での付き添い中は食事時間も不規則となり、限られたほんの短い時間しか食事時間が取れない場合もあ

ります。また、付き添い中は、どうしても自分の食事を疎かにしがちで、ビタミン、ミネラルも不足してしまいます。青木さん夫婦も体調を崩してしまった経験が何度もありました。温かい食事を摂ることも難しかったことから、体に優しく栄養のある食事の重要性に気づきました。

メインの「おむすび」は、無農薬・自然栽培で育てられ、“幻の米”とも呼ばれる「亀の尾」に雑穀を混ぜて使用しています。ビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富に含まれており、栄養満点です。また、「亀の尾」はとってもデリケートなお米のため、その日の朝の天気や気温によって水加減を調整しながら、ガス釜で炊いています。おむすびは、注文が入ってから握ります。提供までには少し時間がかかりますが、その時間が、お客さんとの貴重なコミュニケーションの時間にもなっています。

メインはスープとおむすびですが、キッチンカーとしては、種類は多めです。これは、買いに来てくれる方の多くが常連さんであるため、飽きが来ないように配慮した結果とのこと。大変な付き添いの日々の中の、とっても嬉しい心遣いです。



▲愛のキャンパを贈呈する連合群馬北部地協 渡邊議長(左)と青木さんご夫婦(右)

### 『愛のキャンパ』とは…

みなさんから頂いたキャンパ金や、各種イベント等での募金を、各地協から推薦頂いたNPOなどの社会貢献活動をおこなっている団体に助成をおこなっています。